

そうじの力だより

VOL.235



支援レポート

改善はトライ&エラー
〜継続すれば、意識は変わる〜

群馬県藤岡市の株石井工機。創業五八年、現在の社長が四代目という、社員四〇名の産業機械メーカーです。

ここで、弊社の支援により整理・整頓・清掃の取り組みが始まって、ちょうど二年が経ちます。

当初は、資材倉庫にモノが多く手狭なため、それをどうにか改善したいとこのことで相談があったのですが、話をすす中で、全社を挙げて整理・整頓・清掃に取り組みむべきと理解され、活動がスタートしました。

最初の一年は、「整理」つまり不要なものを捨てることに注力しました。倉庫には、資材が山のようにあふれて、文字通り足の踏み場もないほどでしたが、その資材のおそらく七割以上を捨ててもらいました。また、鋼材を切断するバンドソーが入口付近に設置してあつて動線を邪魔していたのですが、使用頻度が低く、他の機械で代替も可能とのことで撤去しました。

おかげで、資材倉庫は広々としたスペースになりました。



広々としたスペースに変わった資材倉庫

段に向上しました。資材倉庫に限らず、加工工場や組立工場も無駄なものがなく、余裕のある、使い勝手の良いレイアウトになりました。

二年目となった昨年は、引き続き整理に取り組みつつ、「整頓」つまり必要な道具を使いやすく配置することに力を入れました。

同社では、毎月第一金曜日を活動日と定めて、生産業務をストップし、全員参加で整理・整頓・清掃に取り組んでいます。

それぞれの部署から選出されたリーダーを中心に、PDC Aサイクルを回しています。

加工工場においては、旋盤やボール盤のドリルなどをどのように配置すべきか、試行錯誤を重ねました。以前は



棚板の間隔を狭くしたドリル棚

大柄な引き出しの中にドリルを収納していたのですが、かさばることと視認性が悪いことから、棚板と棚板の間隔を狭めた棚を用意し、そこにすべて露出して並べる形にしました。

またドリルの刃先を固定するための

チャックと呼ばれる治具については、自前で専用のラックを製作し、そこに差し込んで収めるようにしました。同社は産業機械メーカーなので、素材を切ったり削ったり組み立てたりしたりして、オリジナルの置場を造り出すことができるのが強みです。



チャック専用の自家製オリジナルラック

面白かったのは、ある加工機で使う道具を、いったん姿置きで整えたのですが、切削の切粉が飛び散ってそうじがしにくいという問題が発生。そこで検討した結果、それらの道具をワゴン台車に載せれば、切削中はワゴンをどかすことで切粉の堆積を防ぐことができることがわかり、姿置きをポツにするようになったことです。

改善は、一度やつて終わりではなく、常にトライ&エラーであることとを、社



ポツになることが決まった姿置きの道具棚

員さんたちが体験的に学んでくれているのです。また、そういったトライ&エラーを楽しむことができていることが頼もしいです。

この活動を始めた頃には、モノを捨てることに抵抗感があり活動に消極的な社員もいたのですが、続ける中で、その意義を理解し、少しずつ改善に取り組んでくれています。

筆者の目から見ると、この二年間で全体的に、みなさんの自発性や創意工夫する力がついてきたように感じています。



種類ごとに分類された配管用金属部材

石井安美社長は、活動の手応えとして、外注加工費が大幅に削減できたことや、安全指導の専門家に工場を診断してもらった時に、基礎がしっかりできていると褒めてもらったことなどを挙げています。単なる業務改善の取り組みではなく、人材教育でもあると、理解していただいています。

三年目となる今年はいよいよ仕上げの年となります。加工工場などの大きな課題である切粉や油汚れを、ピカピカに磨き上げるべく、活動を続けていきます。
(小早)

企業・団体の研修や講演を承ります。目的や対象者に応じて、時間や内容をカスタマイズできます。まずはホームページをご覧ください。



コラム

トイレの様
～そのじをponenと、なぜかトイレが新しくなる～

振り返ってみると、もう一五年以上になると思いますが、自宅の近所にある高崎市の六郷公園のトイレを、毎週日曜日の早朝にそうじしています。(業務とはまったく関係ありません。単なるボランティアです)

これはもともと、友人がはじめたものを、私も加わるようになったのですが、いまやその友人もやらずに、一時的に一時的に一緒にやる仲間が加わったこともありませんが、基本的には私一人ですと続けます。



以前の六郷公園のトイレをそうじする筆者

その六郷公園のトイレが、先日、二か月ほどの改築工事を経て、リニューアルオープンしました。

以前のトイレは、まさに昭和のトイレという感じで、使い勝手の悪いものでした。便器は凹凸が多く、汚れが付きやすく、そうじがしにくいものでした。

はじめた頃の小便器用の水濾(排水の臭いを防ぐための蓋)の裏側には、尿石がビッチリこびりついていて、それをこそぎ落とすのに、数か月かかりました。

新しい便器は、凹凸が少なく、汚れが付きにくく、そうじがしやすいものです。

男性用の大便器と、女性用のものは、以前は和式でしたが、洋式に変わりました。しかもなんと、暖房便座付きです。



リニューアルされた六郷公園のトイレ

つくづく面白いものだなと感じるのは、同じようなことを、十数年前にも体験したからです。

やはり高崎市の北三公園のトイレそうじを、仲間と一緒に月に一回、やっています。



凹凸が少なくそうじしやすい便器

何年か続けた頃に、そのトイレがリニューアルされたのです。以前のトイレは、やはり旧式のもので、汚れが付きやすく、そうじがしにくいものでした。それが、凹凸の少なく、汚れが付きにくく、そうじがしやすいものに変ったのです。

こうしてトイレそうじを続けていると、どこかで神様が見てくれて、ご褒美としてトイレを新しくしてくれるのかな、なんて思ったりします(笑)。(小早)

編集後記

コテンパン・・・(T_T)

1月13日(月・祝)、大学ラグビーの決勝戦を、秩父宮ラグビー場に観に行きました。



今回は、わが母校、早稲田大学と帝京大学の決戦。3連覇中の帝京に、久しぶりに早稲田が勝てるのではないかと期待しましたが、結果は15-33の惨敗。ぐうの音も出ずに涙しました。

それにしても帝京は圧倒的に強い！果たして今後、絶対王者の帝京を倒すチームが出てくるのか、母校のみならず、他の大学にも頑張ってもらいたいです。(小早)

飛鳥のつばやき

縄跳び特訓

小学校で縄跳びの授業が始まったため、冬休み毎日子供たちと公園に行き、特訓することに。



縄跳びは実はかなり難しい手足の協調運動らしく、Youtubeで学習しながら(私が)、できなくてすぐ怒る1年生をおだてにおだてながら、なんとか冬休み中に跳べるようになりました。

動画が無かったら、親子で大喧嘩しながら練習していたらうな…。ほんと、Youtube様様です(´▽`) (大槻)

株式会社そうじの力

そうじで組織と人を磨く、
日本で唯一の研修会社

弊社は「そうじ＝整理・整頓」を通

じた「企業風土改革」を支援します。

講義、実習、チームミーティング、計画作り、現場巡回を通じて、社長と社員の意識改革を図り、健全な企業風土作りをお手伝いします。

支援期間は1年から。毎月1回訪問を原則としますが、状況とご要望に応じて、プログラムをオーダーメイドします。また各種団体向けの講演のご依頼も受け付けております。(全国対応)

X(旧ツイッター)で、『環境整備 一日一言』を毎日更新しています。ぜひフォローしてみてください！